

④ 篠原・大畑・広幡・八草町エリア



●このエリアは全8ヶコースで広いのでゆっくり回れるのが良いでしょう。篠原町エリアと、大畑・八草・広幡町エリアの2コースに分けて車で移動してから歩いてもよいでしょう。まず、起点は、篠原町の永澤寺から始めてみます。静寂の中、曹洞宗永澤寺があります。境内の樹木には四季の変化を楽しむことができます。この寺には今川義元文書などの豊田市指定文化財があります。

●ホタルの自然生息地で知られる大沢川に沿って歩いて下ります。初夏の夜にはホタルの飛ぶのを見ることができ、民家の細道を5分位歩くと篠原町八柱神社に出ます。昭和60年に社殿が新築されています。神社から農道を歩いて愛媛県道を通り、国道沿いに大畑方面に向かいます。マレットゴルフ場を通過し、旧道を進むと、右手に白髭神社が見える四つ角に出ます。昔の街道らしく古い常夜灯があるところがあります。神社を後にして、住宅地の中の旧道を通り、フラワールード花壇の脇から国道に出ます。

●国道の歩道を進み八草町に入ると右手に鳥居が見え、八柱神社が現れます。石段約140段、こちらの八柱神社は平成12年に新築されました。寄つてみた場所です。神社を後にして愛媛の東側道路をまっすぐに歩きます。途中の民家のたたずまいを見ながら八草駅裏に着きます。

●ここからの梶貸し池コースは片道でも1時間ばかりかかります。八草駅の裏を通り抜け、上集落経由の最短距離を歩きます。愛知工業大学前の信号を、右折して広幡方向に県道を歩くと、6分ほどで昔話で有名な梶貸し池に着きます。堰堤には白龍王大明神が祭られ、奥の山の頂には梶貸し池を見下ろす弁財天が祭られています。さらに広幡町方向に山間道路を歩き、正林寺手前で右折し、少し歩くと右側に常夜灯が見えます。寛政の年号が彫られており古いものです。ここからはのどかな田園道を楽しむことができます。

●このエリアは全8ヶコースで広いのでゆっくり回れるのが良いでしょう。篠原町エリアと、大畑・八草・広幡町エリアの2コースに分けて車で移動してから歩いてもよいでしょう。まず、起点は、篠原町の永澤寺から始めてみます。静寂の中、曹洞宗永澤寺があります。境内の樹木には四季の変化を楽しむことができます。この寺には今川義元文書などの豊田市指定文化財があります。

●ホタルの自然生息地で知られる大沢川に沿って歩いて下ります。初夏の夜にはホタルの飛ぶのを見ることができ、民家の細道を5分位歩くと篠原町八柱神社に出ます。昭和60年に社殿が新築されています。神社から農道を歩いて愛媛県道を通り、国道沿いに大畑方面に向かいます。マレットゴルフ場を通過し、旧道を進むと、右手に白髭神社が見える四つ角に出ます。昔の街道らしく古い常夜灯があるところがあります。神社を後にして、住宅地の中の旧道を通り、フラワールード花壇の脇から国道に出ます。

●国道の歩道を進み八草町に入ると右手に鳥居が見え、八柱神社が現れます。石段約140段、こちらの八柱神社は平成12年に新築されました。寄つてみた場所です。神社を後にして愛媛の東側道路をまっすぐに歩きます。途中の民家のたたずまいを見ながら八草駅裏に着きます。

●ここからの梶貸し池コースは片道でも1時間ばかりかかります。八草駅の裏を通り抜け、上集落経由の最短距離を歩きます。愛知工業大学前の信号を、右折して広幡方向に県道を歩くと、6分ほどで昔話で有名な梶貸し池に着きます。堰堤には白龍王大明神が祭られ、奥の山の頂には梶貸し池を見下ろす弁財天が祭られています。さらに広幡町方向に山間道路を歩き、正林寺手前で右折し、少し歩くと右側に常夜灯が見えます。寛政の年号が彫られており古いものです。ここからはのどかな田園道を楽しむことができます。

●このエリアは全8ヶコースで広いのでゆっくり回れるのが良いでしょう。篠原町エリアと、大畑・八草・広幡町エリアの2コースに分けて車で移動してから歩いてもよいでしょう。まず、起点は、篠原町の永澤寺から始めてみます。静寂の中、曹洞宗永澤寺があります。境内の樹木には四季の変化を楽しむことができます。この寺には今川義元文書などの豊田市指定文化財があります。